

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	奈良県障害者総合支援センター わかくさ愛育園		
○保護者評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年3月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	令和8年2月24日		～ 令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月18日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種(保育士、児童指導員、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士)が関わっての支援が可能。	児童一人に対し、多職種のスタッフが直接支援を行い検討会や情報共有を行っています。	引き続き多職種で連携をとりながらチームでの支援に取り組みます。
2	保護者と関わる機会が多い。	単独通園ですが、保護者による送迎で登園後や降園前に情報の提供や共有を行いやすく、また、懇談時や親子保育の日に我が子への関わり方を伝えたり成長したところを感じていただけるようにしています。	保護者の思いをしっかり受け止めていけるよう、今後も信頼関係の構築や職員の資質向上に務めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的ケアの必要な方の利用日数が限られること。	看護師が対応できる人数が限られているため、希望に沿った利用をしていただけないことがあります。	喀痰吸引等研修を受講し、看護師以外のスタッフも対応できるよう努めています。